

新潟大学のおすすめポイントは？

- ・日本で唯一、日本酒学の講義がある。
- ・歩いて海に行ける。
- ・総合大学ということもあり、サークルなどの諸活動において様々な学部の人と交流することができ、考え方や視野が広がる。多くの人と関わることで、お互いに良い影響を受けながら、様々な経験をすることができる。

- ・様々な学部の人と講義を受けることで、コミュニティを広げることができる。
- ・サークルもたくさんあり、他大学との交流ができるサークルもある。
- ・教養科目として、自分の学部以外の授業も取ることができ、広く知見が得られる。
- ・理学部はプログラム選択が2年次になってからなので、自分が何を専門にするのかを大学に入ってから決めることができる。

・緑溢れる大学内では、総合大学だからこそ様々な学部に通う学生や、留学生と交流できます。大学内には図書館や資料館、グループ学習室といった勉強する場所はもちろん、パン屋さんもあります。ここの塩バターソフトはおいしいですよ。また、新潟大学でしか開講されていない個性的な授業科目もあり、特に日本酒学はオススメです。新潟大学でのキャンパスライフは非常に充実すると思います。

- ・図書館の蔵書が豊富で調べものに適しているし、静かに自習できる環境がある。
- ・大学構内にバス停があるため、バス通学は楽。また、自動車学校の送迎も大学構内のバス停で行われる為、授業終わりや空きコマに自動車学校に通いやすい。
- ・遠方からの入学生には基本的に大学近くのアパートが紹介される為、通学に時間がかかることもない。
- ・学食がおいしい。

Q1 ・幅広い知識・スキルを身に付けることができる副専攻プログラムがある点。例として英語、中国語、フランス語といった語学系、電子・情報科学、医学物理学基礎といったものを学ぶことができる。10個の学部があり、自分が本当に興味があることを学ぶことができる点。就職活動に手厚くサポートしていただき、地元就職には有利である点。朝、昼、夜いつでも学食が利用できる点。特に昼にはパン屋も営業しており、夜にはビュッフェ形式になる。

- ・総合大学であるため、多くの分野の知識を学ぶことにより、自分の知識の幅が広がること。
- ・自然豊かで緑が多く、海も近いため、リラックスして授業を受けられること。

- ・総合大学なので様々な価値観を持った人と交われる
- ・徒歩圏内の店で大体のものが揃う
- ・県内就職は基本的にかなり有利

- ・海が近い
- ・図書館が綺麗
- ・キャンパス内に散歩コースがある

- ・学食が3つもあり、メニューも豊富、季節限定メニューやご当地フェアがあり飽きない
- ・ペーカリーのクロワッサンとコッペパンがおいしい
- ・キャンパス内に森があって気持ちがいい
- ・新大祭が楽しい

理学部数学プログラムのおすすめポイントは？

- ・先生方との距離が近く、親身に相談に乗ってくれる。
- ・実験がなく、時間に縛られないため、バイトやサークルを続けやすい。
- ・数学プログラムの研究室がある棟からの景色が絶景で、海や佐渡ヶ島、日の入りなどが見える。

- ・代数、幾何、解析、応用数学などの数学を広く学べる。
- ・先生がみな親身になって教えてくれる。
- ・数学の学びを通して論理的に考える力が養われる。

・入学してすぐに専門的な数学を学ぶのではなく、基礎基本を大切に、学年に合わせた難易度の授業が展開されています。私自身、大学数学についていけるかすごく不安でしたが、授業はわかりやすく、先生も丁寧に解説をしてくれます。また、数学に対する自分の興味を尊重してくれ、気になる分野をさらに専門的に学べました。

- ・1年目の序盤は高校数学から大学数学の導入のような授業が行われるため、いきなり授業についていけなくなることはない。
- ・教授方が皆優しく、質問等に丁寧に答えてくれる。
- ・(数学プログラムというより、理学部全体の話だが)2年の前期まではプログラム各々の区切りがないため、物理プログラム等の他プログラムを希望する学生と交流ができる。

Q2

・数学には解析学、代数学、幾何学、応用数学といった様々な分野があり、幅広く数学を学ぶことができる点。教授たちはみな親身に接していただき、学生同士も和気あいあいとしている点。数学を深く学ぶことができる専門プログラム、他分野の知識を学び、それらを活用できる総合プログラムがあり、学生のニーズにこたえている点。

- ・解析、幾何、代数、統計など色々な数学分野の先生の下で数学を学べる
- ・先生たちがみんな優しく、オフィスアワーの時間に気軽に質問に行ける

- ・純粋数学から応用数学までゼミの選択肢が多い
- ・1年次はプログラムに分かれていないため、他分野の友人を作りやすい

- ・幅広い分野の講義が受けられる
- ・自由な時間が多い

- ・いろいろな分野のことが学べるので自分に合うものを探せる
- ・ゼミは少人数なので深く学べる
- ・先生方が親身になって相談に乗ってくださるので安心できる

大学生活は楽しいですか？

・とても楽しいです。授業以外の時間はサークルやバイト、趣味に時間を費やし、勉強とそれ以外を両立させながら、忙しいながらも毎日がとても充実しています。サークルでは色々な学部の人が集まるので、他学部の知り合いが増え、気の合う友人もたくさんできました。空いた時間にバイトをし、お金を貯めて旅行したり欲しいものを買ったりするのも楽しみの一つです。大学生は自由な時間がたくさんあるので、自分次第で色々な経験をする機会を作ることができます。

・コロナ以前はサークルで他県に遠征し他大学との交流をすることができた。
また新潟大学はグループになって物事に取り組み授業もあるので、人間関係のつながりを構築できる。

・すごく楽しいです。高校を人生の春とするならば、大学は人生の夏休みだと思います。アルバイトをして稼いだお金で友達と旅行に行ったり、授業の空きコマに車でカフェに行ったり、体を動かしたいときはサークルに出て汗を流したり…かけがえのない思い出がたくさんあります。

・部活やサークルの種類は多いため、やりたいサークルなどは基本的に見つかる。色々体験してみるのも良いかもしれない。
・大学近くのアパートは新潟大学生が多いため、友人はできやすいし、交流も多くできる。今はコロナ禍により自粛せざるを得ないが、そうでなければ友人の家に集まりやすいため楽しい。

Q3

・非常に楽しいです。高校のときよりも感性が近い人が多かったため、普段の何気ない会話、一緒にご飯を食べに行くといったたわいもないことが楽しいと感じました。
またバイトで様々なバイトができることも大学生ならではの醍醐味だと思います。特にライブの設営のアルバイトが印象深いです。想像の何倍も過酷でしたが、ライブ当日お客さんたちが喜んでるのを見ると、やり遂げたという達成感に浸れていい気分になれます。いろんなバイトを通してお金をもらい、友達と遊ぶ、私は何気ない一瞬一瞬ですら楽しいと感じた学生生活でした。

・とても充実した大学生活を送っています。私は中学校の時にソフトテニス部だったので、ソフトテニスサークルに所属していますが、サークル活動は基本的に自由参加なので、気分転換に体を動かしたい時はみんなで楽しくテニスをしたり、テスト前はサークルに参加せず、勉強に集中できたりと、生活のオンオフの切り替えがうまくできています。また、共通の趣味を持つ友人や、勉強で協力し合える友人、頼りになる先輩など、サークルを通して、交友関係を大いに広げることができます。

・他プログラムと比較して時間の縛りが少ないため、自由に活動しやすい
・サークル等は1年次に思いっきり楽しんでください

・楽しいです。部活では苦勞したこともたくさんありましたが、たくさんの仲間たちと充実した時間を過ごすことができました。
アルバイトは時間を見つけて行っています。また、大学生活は自由に使える時間が多いので、好きなことを好きなだけ勉強することができます。

・楽しい。サークルは、私は生き物系のサークルに入っていて、水族館に行ったり、生き物を探しに行ったり、船に乗りました。夏は大学近くの海でBBQしました。
バイトは、新潟駅周辺の居酒屋でバイトしてました。そこで学外の友達もできました。新潟駅周辺は交通の便がいうえに、賃金も比較的高いのでおすすめです。新大周辺は、空きコマなどの隙間時間に働けると、交通費もかからないので人気です。

大学で学ぶ数学の面白さって何ですか？

・高校数学は感覚的・具体的で、大学数学は厳密的・抽象的です。極限などの高校数学では曖昧になっていた部分が、大学数学では厳密に定義され、理論的に捉えることができます。理論的に考えることが好きな人にとっては、大学数学はとても楽しいと思います。

・高校の数学と比べて抽象的な概念が多く、最初は苦戦するかもしれないが、異なる分野の理論が別の分野の問題解決につながることは数学の面白さを感じる。

・なかなか答えがでないところが面白いです。大学で出された課題を一週間かけて取り組みます。「この定理は使えないかな」「似た問題はないかな」「これって形をかえられないかな」など、調べれば調べるほど、わからないことができて、それをまた一つずつ解消することを繰り返し、自分の納得いく答えを書きだします。このとき、「そういうことか」と納得した瞬間に今までの苦労と努力が報われた気分になります。きっと、大学になっても数学を学びたい理由は、このときの達成感や美しさを感じるのが好きだからだと思います。

・高校数学と違って証明問題が主なので、綺麗に証明が完成した時は面白さを感じる。
・また、高校数学では厳密に定義や説明されてなかったことについても定義、証明されるため高校時代の謎が解けた感じがして楽しい。

Q4 ・高校数学は解くプロセスを学び、試験でいい点数を取るといった受動的なところが大きいと思います。しかし大学数学は、当然、単位を取得するために試験を突破しなければいけません、それよりも"自分で考え、自分で導き出す"といった主体的な部分が大きいと思います。大学数学は厳密に定義されており、直観的に当たり前だというものや有名な定理、命題を示すことはとても大変ですが、証明し終わると気持ちいですし、新たな理解を生むため、より数学を好きになれます。

・高校の数学では、主に"計算"をすることがメインの勉強方法ですが、大学では主に"証明"をすることがメインの授業が行われています。そのため、高校の数学では曖昧に定義されていた概念をより精密に論理的に定義していきます。より精密な議論を進めることで、大学で数学を学んでいないと分からないような直観に反するような事実をたくさん知ることができるのが面白いです。

・高校では既存の公式に則って問題を解きますが、大学ではなぜこの結果になるのかというところにフォーカスするのが大きな違いだと思います。高校までの数学で計算問題よりも証明問題が好きな人におすすめです。

・大学で学ぶ数学は、抽象的な話題が多いので、初めは難しく感じるかもしれませんが、しかしながら、その分少しでも理解が進んだ時の感動は高校までの数学とは比べ物にならないほど大きなものになります。数学と向き合う時間は、苦しく感じることもありますが、充実したものとなります。

・大学で学ぶ数学は、根本的なことを学ぶので原理が知れて面白い。例えば、高校では関数を普通に積分していたが、大学では、与えられた関数がそもそも積分できるかどうか、また、積分できる関数はどのようなものがあるかなど。
さらに、今まで考えたこともないようなことも多く出てくるので楽しい。例えば、実数の足し算や掛け算などをしていたが、それとは逆に、足し算や掛け算ができるような体系を考えることでその構造を研究する。幾何学だと図形を伸び縮みさせることで図形を分類するなど。

授業がある日の一日のスケジュールを教えてください。

・1限がある日は朝7時半に起き、朝食を食べ、準備をして、8時15分に家を出ます。8時半から1限を受け、空きコマには図書館や共有スペースで友達と課題をしたり、空き教室で談笑したりします。（空きコマを有効に使えば、その時間で課題を終わらせたり、勉強したりできるので、帰宅後はのんびり過ごせます。）お昼は大体学食で食べるか、コンビニでお弁当を買って食べます。授業がすべて終わった後は、サークルもしくはバイトに行きます。サークルがある日は20時頃に、バイトがある日は23時頃に帰宅します。帰宅後は課題をやったりスマホをいじったりして2時頃に就寝しています。

・1限が8:30に始まり5限は17:55に終わる。私は学校と家が近いので、授業のない時間(空コマ)は家に帰り復習したりリラックスしていた。空き時間や放課後は読書により自分の見聞を広めることも大事であるように感じる。新潟大学の図書館には様々なジャンルの本があるので、自分の興味のある本を読めることは有意義な時間につながると思う。

・大学がある日はなるべく大学で過ごすようにしています。電車で新潟大学前駅まで行き、そこから頑張って歩きます。授業が始まるまでは図書館に行って、今日やるページに目を通しておきます。（かるく目を通してだけで授業の理解度が違うことをやっとなりました。）そして、お昼は学食かパン屋さんで済ませ、授業に向かいます。私は、ノートか、iPadで授業を受けています。授業が終わったら友達と課題をしたり、おしゃべりをしたりします。後は、バイトにいくか、そのまま帰宅するかです。

・朝起きる時間は割と自由ですが、大抵8時～9時程に起床し、朝食を取ります。その後身支度を終え次第大学の図書館へ行き、ゼミの発表資料の確認を11時頃まで行います。11時頃になると学食へ行き昼食を取ります。11:45～12:55までがお昼休みですが、その時間は学食が混むので、2限か3限に授業がない人はそのどちらかの時間に昼食を取ることをお勧めします。食べ終わったら少し休憩を挟み、ゼミの教室に向かいます。金曜日はゼミ以外に用事は基本的にないので、終われば自宅に直行し、ゼミの反省や次回以降の発表の確認等を行い、後は夕食や入浴をし、自由に時間を使います。以上が1日のスケジュールとなります。

Q5 ・大学の授業には教養科目と専門科目の大きく2つに分かれています。教養科目は他学部の人たちも受講するため、サークルの人たちと授業を受け、専門科目は学部の友達と授業を受けます。授業と授業の間の時間は友達の家に行き、一緒にレポートに取り組んだり、談笑、ゲームなどをして過ごしていました。その日の授業を受け終わったら、部活やサークルやバイトに励んでいました。テスト終わりには友達とご飯へ行ったりと、小説やドラマであるような、そんな日々を送っていました。

・大学生になると従業の時間割は自分で決めるため、「空きコマ」というものを作ることができます。次の授業が始まるまで、大学内の図書館や勉強スペースで前の授業のレポート課題に取り組んだり、家に帰ってゆっくり休んだり、友人と外食に行ったりと、どの時間も自分の好きなように決めて過ごすことができます。また、時間割を組むときに、金曜に授業を入れないことで、金・土・日の3連休を作って、ゆったり旅行に行ったりなど、勉強を頑張りつつ、有意義な休日を作り出すこともできます。

・8時起床
・午前中～午後→授業/専門科目の課題
・夕方～夜→バイト、課外活動
・23時～25時→課題
・勉強する日と遊ぶ日のメリハリをつけるのがおすすめです。

・とにかく午前中から活動を開始することが重要です。

・今は4年生なので、週一回のゼミがあります。ゼミの準備をしっかりと、ゼミを行います。1年生の時は、私は朝が弱いので、2限の授業をとって、学食で昼食を友人と食べて、3,4限の授業を受けるといったかんじでした。お昼ごろの授業を中心とっていました。1つ空きコマを作ると90分空いて逆にしんどい時もあるので、あえて連続で授業を取っておくのがおすすめです。

将来の進路や夢は何ですか？

・私は高校の数学教師になることが夢です。そのために教職課程を取り、教員免許を取得しました。また、数学の専門性を高めるために大学院に進学し、現在研究に励む日々を送っています。

・数学プログラムの進路は大学院進学、教師、IT関係など多岐にわたる。
私自身は大学院に進学しより深く数学を学んでいきたいと考えている。

・私は教育関係に興味があるので、そういったことを仕事にします。もちろん、数学プログラムでは教員免許を取得することができ、私も中高の免許を取得予定です。教員を目指す人も理学部の中では多いですし、他にも銀行や電力会社、IT関係など、進路選択は自由度が高い学部だと思います。

・私は大学卒業後はIT企業に就職します。将来の夢はこれといったものは特に無いのですが、新潟大学の4年間で得たものを役立てたいと思っています。また、私の周りでは、教員を目指している人もいれば、金融系に就職する人もいますようです。実際に何人いるかは不明ですが、大学院に進学する人も一定数いるはずですよ。

Q6

・高校時代の数学の恩師のようになりたいと思います、将来の夢は教師になることです。同じ志を持った人が多くいるため、切磋琢磨できます。私の周りでは、公務員やエンジニアが多かったです。数学を使った仕事はあまり多くないですが、数学的思考はどの職種でも役立ちますので、一般企業に就職する人もいました。

・数学プログラムの学生は、教員または院進する学生が多いです。他にも民間企業に就職する人、公務員になる人、院進した後に教員になる人もいます。みんなそれぞれの夢を叶えるために、日頃は切磋琢磨して実力を高め合い、時にはプライベートや進路の悩みを相談しあえる仲間がたくさんいます。数学を志す者同士、考えることや悩むことは似ている部分があるので、そういった情報を共有しながら、進路や夢を決める学生が多いです。

- ・教員
- ・IT企業
- ・金融
- ・その他文系就職等

・教員を目指す人が多いように感じます。私は未定です。

・私自身はまだ決まっていないのですが、私の周りは、大学院進学と就職した人が半々です。
就職した人は、IT系や教育系といった数学に関係した就職先が多いです。

高校生へのメッセージをお願いします。

・大学受験は自分の人生を左右するものなので、たくさん悩み、時にはメンタルがやられそうになることもあるかもしれません。そんなときは家族や友人と少し話をすることで気分転換になります。私は受験においてメンタルが大事だと思っているので、どんなに投げ出したくても、とにかく少しずつでも自分の勉強と向き合うようにしています。周りに流されず、自分に合う勉強スタイルで頑張ってください。大学生になれば今までにない貴重な経験をする機会がたくさんあります。大学生活はとにかく自由です。時間の使い方は様々で、何もしなければ何も成さずにあっという間に4年間が過ぎてしまいます。何かしていこうと自分から積極的に行動していけば、いくらでも充実します。つまり、すべて自分次第です。自分が達成感を得られる経験ができるように、ぜひ色々な挑戦をしてみてください！

・新潟大学は親身になってくれる先生や同じ志を持った学生に囲まれています。勉強においても趣味においても全力で取り組める環境がそろっています。新潟大学はさまざまな経験や知識、人間関係を得ることができる場所だと思っています。皆さんが新潟大学に少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです。

・大学生になると、24時間365日の自由が与えられます。人生でたった4年しかないこの自由な時間をどう使いたいかを考えるのは、進路を決める上で参考になるかなと思います。私はこの自由な時間を、無駄にせず、できる限りの知識と経験を身に付けようと思い4年間過ごしてきました。興味ある授業はすべてとれたし、サークルで貴重な経験もしました。さらには新潟の地域貢献にも繋がるボランティア活動もできました。新潟の美味しいお店も沢山発見することができました。ですので、私は大学生活に後悔はありません。高校生のみなさん、勉強は将来の自分への投資だと思って、惜しみなく勉強してください。そして、素敵な大学生活を手に入れてください。

・対面でのオープンキャンパスが中止となり、皆様に会う事が出来ず非常に残念ですが、オンライン上でも少しでも新潟大学のことを知り、入学を決めていただければと思います。高校3年生の皆さんの中には、新型コロナウイルスの影響で満足な高校生活が送れなかったという方もいるかもしれません。今後コロナの脅威が無くなる保証はできませんが、それでも皆さんの大学生活が実りあるものになるよう願っております。また、受験勉強等大変なことも多いかと思いますが、残りの高校生活を楽しんで下さい。

Q7

・数学は奥が深いです。勉強すればするほど、なぜ？どうして？と追求したくなる学問です。少しでも数学に興味があるのであれば、数学プログラムに行くことをお勧めします。数学漬けの生活は楽しいと言えないときもありますが、結局は興味、関心が勝り非常に有意義な時間を送れます。

・高校生の皆さん、「大学ってどんなところだろう？」という期待と不安でいっぱいだと思いますが、一言で言うなら「大学は、人生をより濃密なものにするための場所」と言えると思います。勉強に限らず、プライベート面でも、今よりもっと多くの皆さんの経験を積むことができます。また、大学生活は良くも悪くも「自由」なので、自分次第で今後の人生が大きく変わっていきます。大学選びに悩む時期だとは思いますが、少しでも参考になれば幸いです。体調に気を付けながら、勉強を頑張ってください！応援しています。

・努力した分だけ結果に繋がる分野だと思います。
最初の2年を乗り越えれば数学の面白さが分かってくると思うので頑張ってください。

・自分が進もうとしている道に不安を感じることもあるかもしれません。しかしながら、やりたいことが変わったり、事情があって続けることができなくなったりしても、新しい道はいくらでも見つかります。今持っている目標に向かって、自分を信じて進んでほしいなと思います。

・大学生活はかなり自由なので、良くも悪くも自分の行動次第で大きく変わります。学業や趣味など、自分の興味のあることをとことん突き詰めることができるのが大学の良さだと思います。また、部活・サークルやバイトなど学業以外の多くのことを経験してみてください。実際かなり楽しくて、気の合う人たちとも出会えると思います。
今年は10月の15,16日に新大祭があるのでぜひ参加してくださいね。